（八）災害対策関係

教務支庁は、災害が発生したときは、次のことに留意し、速やかに対処すること。

- (1) 教区災害対策委員会の召集
- (2) 被災詳細の収集
(常に情報収集につとめる)
- (3) 本部（災害対策委員会）への報告、連絡、相談
- (4) 災害の程度によっては、左のことに留意すること
 - ◇ 委員の業務分担、調査員及び慰問使の派遣
 - ◇ 救援並びに救援活動の立案、必要に応じて災害救援ひのきしん隊派遣の相談
 - ◇ 最寄りの教会、布教所をもって、罹災者の応急処置等に応じる諸準備
 - (必要に応じて、公共施設、信者宅等を借用)
 - ◇ 物資、あるいは資金調達の立案

教会（布教所）罹災報告様式

立教 年 月 日

教区長（氏名）

天理教表統領室長

殿

教会（布教所）罹災報告の件

首題の件 年 月 日

のため罹災致しましたので左記

の通り御報告申し上げます

記〔※①〕

一、罹災教会名（直属教会名）

二、所在地

三、教会長氏名

四、御目標の安否

五、罹災時の状況

六、人員死傷の有無

七、建物の状況

〈例〉総建物 ○棟

総床面積 ○○○平方メートル内、木造瓦葺平家建、倉庫一棟 ○○○

平方米、全焼

右所有者（借家の場合は、その旨記入）

八、備品、家具等の被害程度

九、罹災後の処置及び今後の対策〔※②〕

十、教区としての処置及び対策〔※③〕

※① 災害が大きく、複数の教会（布教所）が罹災した場合は、一覧表にして報告すること

※② 当該教会の立場から記載すること

※③ 罹災の級種別区分、及び見舞金の額（災害見舞金交付額基準）、あるいは救援活動をした場合の報告等について記載すること

◆ 火災等による場合（主として失火、類焼）、当該教会から始末書及び御詫書を直属教会長連署の上、真柱室（真柱宛）に提出して頂くことを確認する。

災害見舞金交付額基準

級種別区分		教会		布教所	
A	全焼・全壊・全流失・倒壊と認められるもの	一〇〇〇円	〇〇〇円	三〇〇〇円	〇〇〇円
B	半焼・半壊・半流失と認められるもの	五〇〇円	〇〇〇円	二〇〇〇円	〇〇〇円
C	B級以下の被害で、お見舞の必要を認めたもの	三〇〇円	〇〇〇円	一〇〇〇円	〇〇〇円

（平成九年四月一日改訂）

◇ 所有家屋、借家による見舞金の区別はしない

◇ 見舞金の交付は、「天理教教会本部」の名ですること

◇ 直属教会の場合は、本部で別に考慮する